

事業名：ロードヒーティング管理経費

道路管理課 維持係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実							
施策	02 交通環境の充実							
基本事業	01 安全で快適な道路づくり							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

手段（事務事業の内容、やり方）

冬季間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかどうかの確認

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングを適切に管理し、円滑な移動を可能にし、市民の安全性、利便性、快適性を高める。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	ロードヒーティング延長	m	979.1	979.1	979.1	979.1
対象指標2	ロードヒーティング面積	m ²	5,673.1	5,673.1	5,673.1	5,673.1
活動指標1	巡回・点検回数	回	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	管理上の不具合件数	件	0	5	5	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	23,887	23,665	28,110	25,747
正職員人件費(B)		千円	1,605	802	781	782
総事業費(A+B)		千円	25,492	24,467	28,891	26,529

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ロードヒーティング光熱費 ロードヒーティング機器類施設修繕工事 ロードヒーティング点検委託 	<ul style="list-style-type: none"> ロードヒーティング光熱費 24,727千円 ロードヒーティング機器類修繕工事 2,947千円 ロードヒーティング点検委託 436千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・急勾配箇所や接触事故の多い道路について設置している。 ・近年において電気料の節約のため緩勾配箇所等冬季間電源を入れない自治体がでてきている。 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 道路管理者は冬季間スリップ等事故が起きないように、利用者が快適に通行できるように努めなければならない。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 当該箇所での冬季間における交通事故が皆無であり、貢献度は大きいと考えられる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 天候に左右されるが、一定の成果はあがっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 実施後の道路の安全は確保されており、これ以上の向上の余地はない。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 これまでも経費削減のため、天候の良い日は電源を切るなどして努めており、これ以上のコスト削減は難しい。